

遠隔操作による入口閉鎖装置の運用を開始します

～16号一宮線 春日入口、一宮西春入口～

名古屋高速道路公社は2024年4月15日（月）から、震度5強以上の地震が発生したとき等の災害時に、速やかに入口を閉鎖するため、遠隔操作による入口閉鎖装置の運用を開始します。

1. 導入箇所

高速16号一宮線（北行き） 春日入口、一宮西春入口の2箇所

2. 目的

上記の入口付近には料金所がないため、これまでは、入口閉鎖を必要とする事案発生に対して、道路パトロールカーによる閉鎖作業を実施していますが、現地への到着や閉鎖作業に時間がかかっています。

このため、この2箇所の入口に遠隔操作による入口閉鎖装置を設置することで、地震や大雪による災害時に速やかに入口閉鎖を行い、お客様の安全を確保します。



* 赤白のエアバー式遮断棒が出ている時は、名古屋高速道路に入れません。



位置図